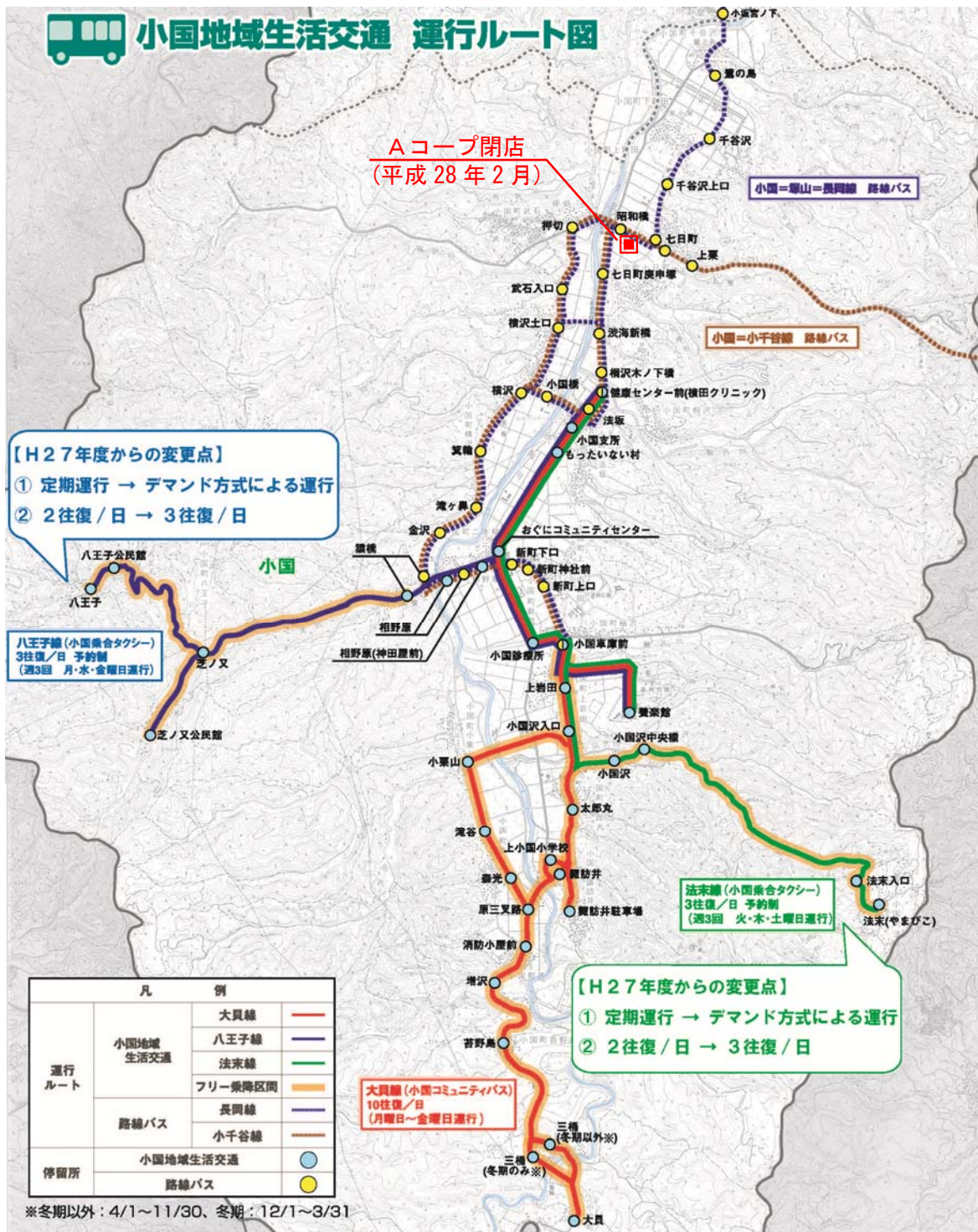


1. 小国地域

(1) H27 年度の運行内容

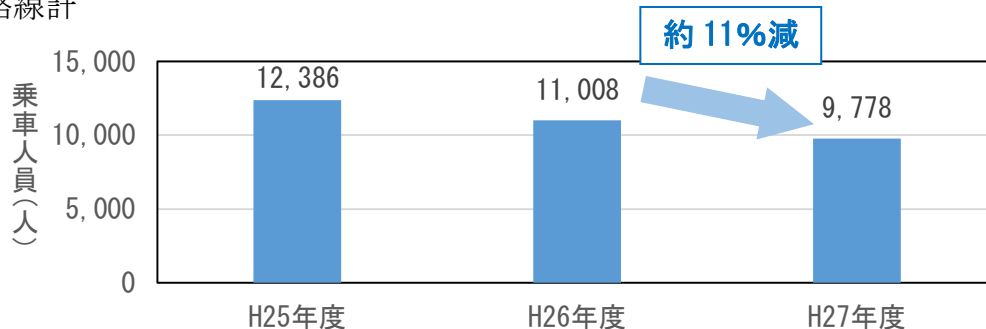
- H27 年度から、八王子線・法末線は定期運行からデマンド方式による運行へ変更された。また、運行便数は1往復(2便) 増え3往復(6便) となった。
- 大貝線は、H26 年度からの運行変更はなし。



(2) H27 年度の利用状況

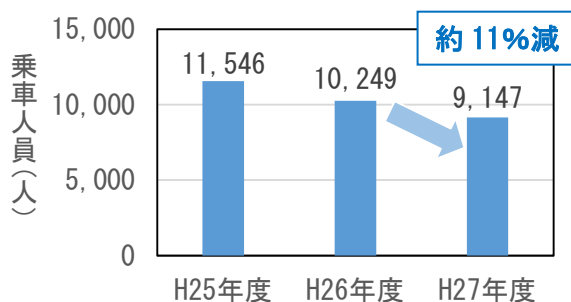
- H26 年度と比べて全路線計では約 11%減となっている。
- 路線別では、大貝線が約 11%減、法末線が約 25%減となっている。
- 大貝線の利用者減少の要因は、利用者の高齢化による外出機会の減少が考えられる。
- 法末線の利用者減少の要因は、特定の定期利用者が不在になったことなどが考えられる。

■全路線計

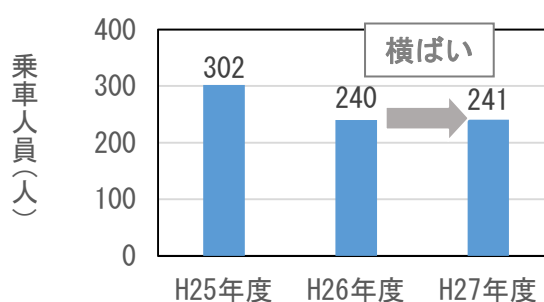


■各路線別

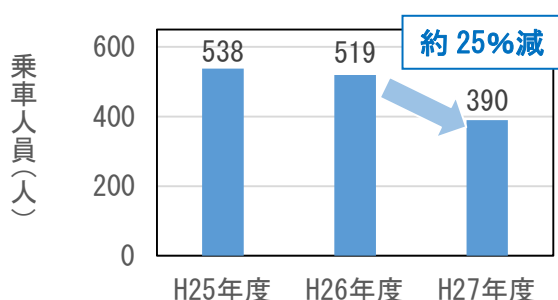
①大貝線



②八王子線



③法末線



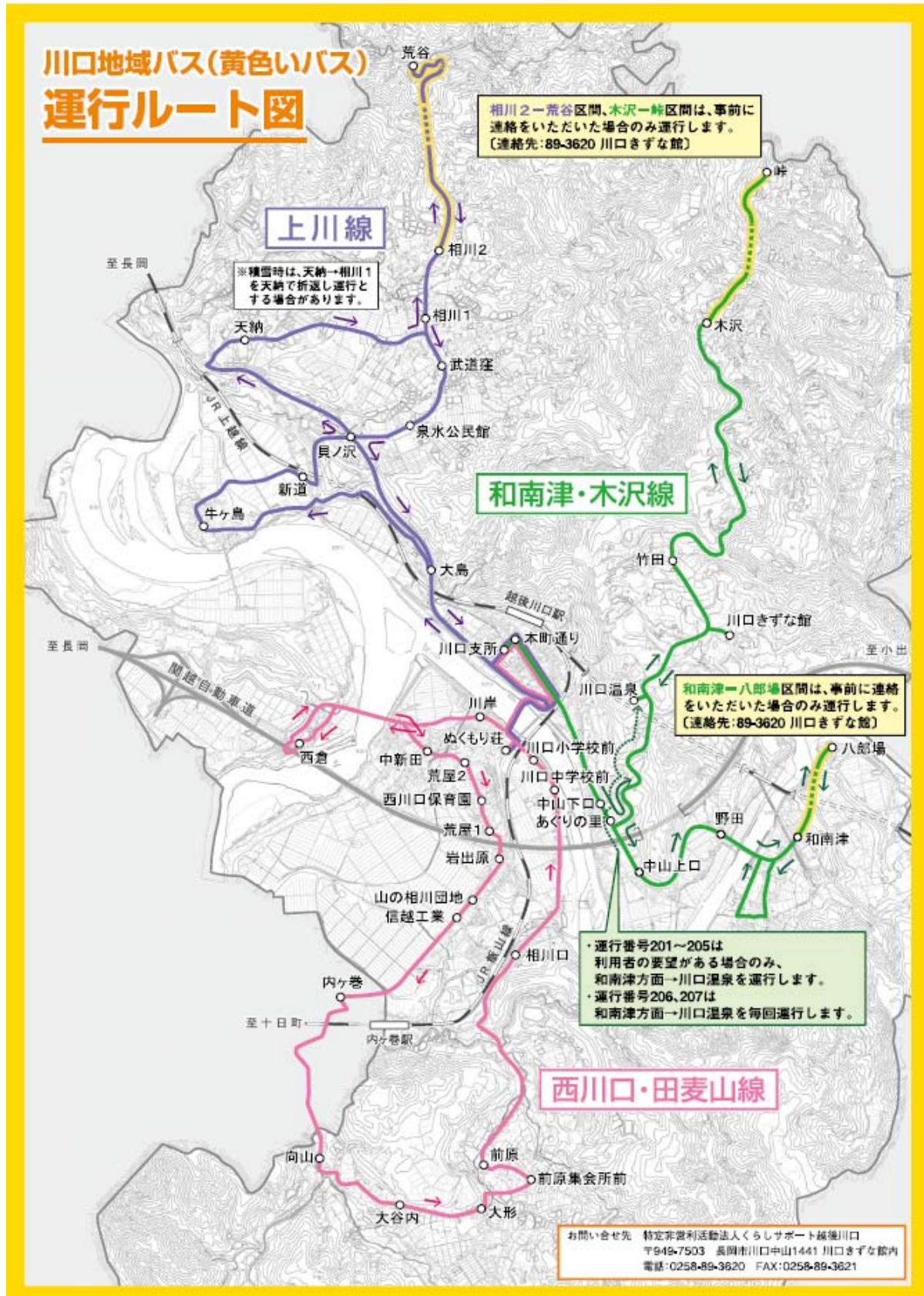
(3) 今後について

- デマンド方式による運行へ変更された八王子線・法末線については、住民への予約方法周知を改めて行うものとする。
- 大貝線については、平成 29 年度に予定されている地域内の小学校統廃合による利用形態の変化に対応でき、また、効率的な運行となるよう見直しの検討を行うものとする。

2. 川口地域

(1) H27 年度の運行内容

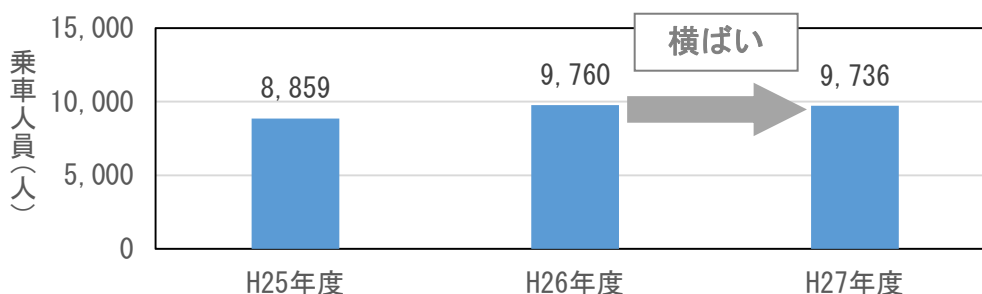
○全路線ともに、H26 年度からの運行変更はなし。



(2) H27年度の利用状況

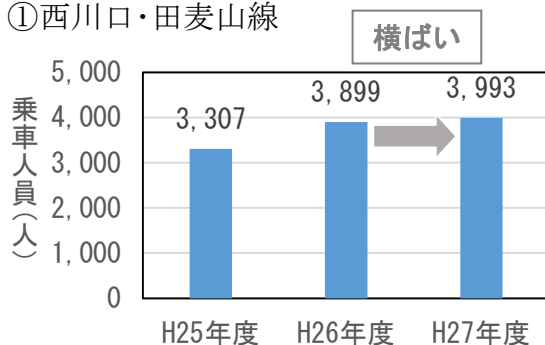
- H26年度と比べて**全路線計では横ばい**となっている。
- 路線別では、**上川線が約21%増**、**木沢・和南津線が約12%減**となっている。
- 上川線**の利用者増の要因は、**バスの運行内容が年々浸透してきたこと、市営バス時代よりも便数が増加したほか、乗り継ぎや時刻、停留所の配置等で利便性が向上したことが考えられる。**
- 木沢・和南津線**の利用者減少の要因は、**利用者の高齢化による外出機会の減少**が考えられる。

■全路線計

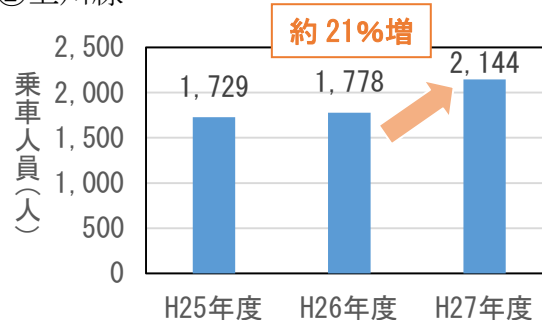


■各路線別

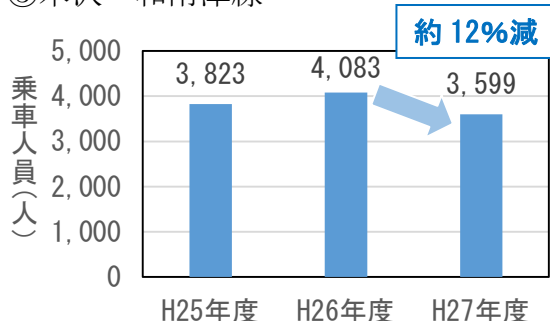
①西川口・田麦山線



②上川線



③木沢・和南津線



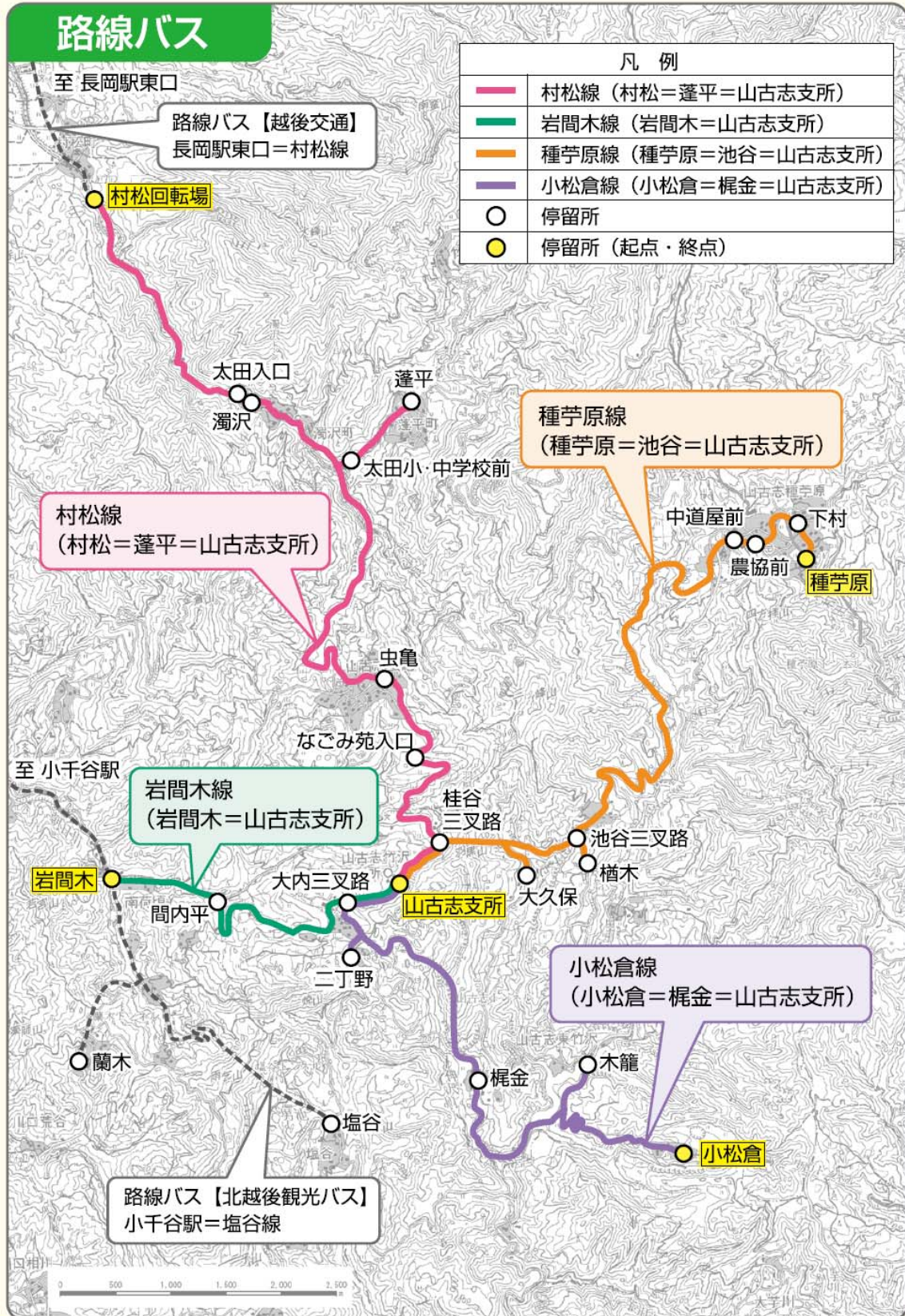
(3) 今後について

- 全路線計の乗車人員が概ね横ばいに推移しているため、今後の推移を見守るものとする。

3. 山古志地域

(1) H27 年度の運行内容

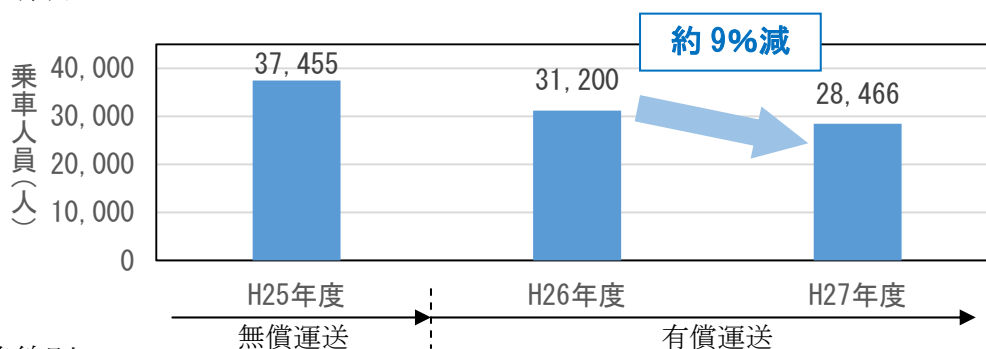
○全路線ともに、H26 年度からの運行変更はなし。



(2) H27年度の利用状況

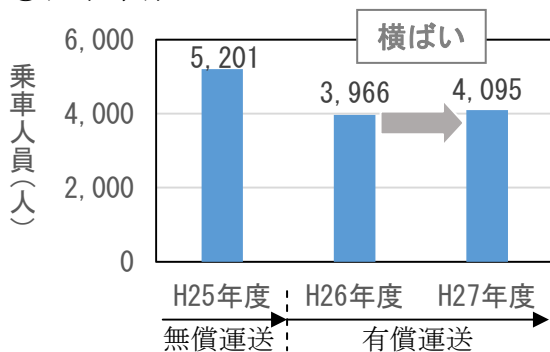
- H26年度と比べて全路線計では約9%減となっている。
- 路線別では、岩間木線が約28%減、小松倉線が約19%増となっている。
- 岩間木線の利用者減少の要因は、学生の卒業生の数が入学生の上回ったことが考えられる。
- 小松倉線の利用者増加の要因は、通院など定期利用者が増加したことが考えられる。

■全路線計

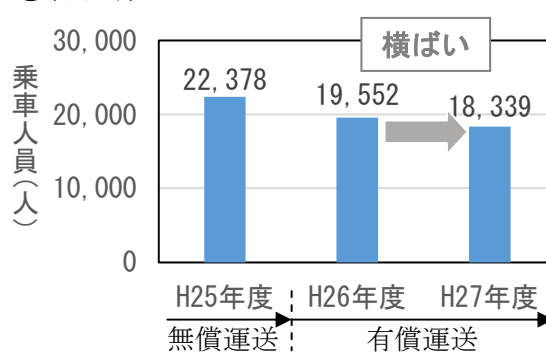


■各路線別

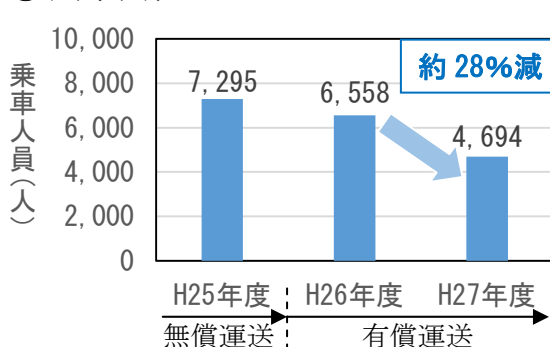
①種苧原線



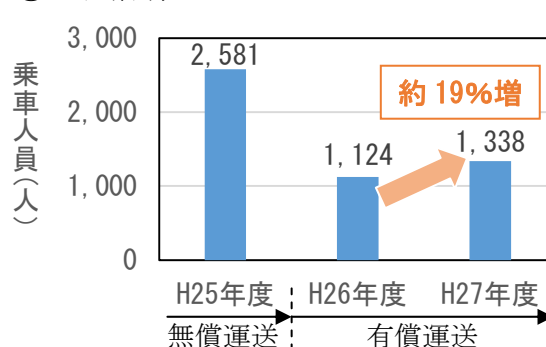
②村松線



③岩間木線



④小松倉線



(3) 今後について

- 全路線計の乗車人員が概ね横ばいに推移しているため、今後の推移を見守るものとする。